アダージオAB

災害2割加算型変額個人年金保険(アダージオ)

特別勘定の月次運用レポート 2025年5月末現在

- 〇市場概況
- ○特別勘定の運用状況
- ○組入投資信託の運用レポート

変額個人年金保険のリスクと手数料について

- ▶変額個人年金保険は一時払保険料をファンドで運用します。ファンドの主要 投資対象である投資信託は、国内外の株式・債券等で運用しており、運用実 績が保険金額や資産残高・将来の年金額等の増減につながるため、株価や 債券価格の下落、為替の変動により、資産残高、解約払戻金額は払込保険 料を下回ることがあり、損失が生じるおそれがあります。
- ●変額個人年金保険は預金等ではなく、預金保険制度ならびに投資者保護基金の対象ではありません。
- ●受取総額が一時払保険料相当額を下回ること(元本割れリスク)があります。 ●保険関係費用:ご契約の新規成立・維持等や死亡・災害死亡の保障等をするための費用です。運用期間中、資産残高に対して年率2.30%の割合で資産残高から毎日控除されます。90歳開始年金原資保証特約を付加した場合は特約分の保険 関係費用(資産残高に対して年率0.05%)が別途必要になり、合計で年率2.35%の割合で資産残高から毎日控除されます。 ただし、マネーファンドの保険関係費用には優遇措置(上限:年間100日まで)があります。
- ●運用関係費用:ファンドの運用にかかる費用です。主にファンドが投資する投資信託の信託報酬で、信託財産に対して最 大で年率1.243%(税抜1.13%)程度の割合で信託財産から毎日控除されます。運用手法の変更等の理由により将来変更さ れる可能性があります。
- ●契約管理手数料:毎年の契約応当日の前日の資産残高が200万円未満の場合、前年の契約管理手数料として年額4.800 円が契約応当日に資産残高から控除されます。全部解約時の資産残高が200万円未満の場合、解約の年の契約管理手数 料として一律4,800円が解約時に控除されます。
- ●年金管理費:年金支払の管理にかかる費用です。年金の受取期間中、年金額に対して1%の割合で責任準備金から年金 受取時に控除されます。
- ●解約控除:ご契約日および増額日からその日を含めて7年未満の全部解約、一部解約(ご契約または増額時から7年未満 の元本総額の5%相当額までを除く)をした場合にかかります。ご契約日からの経過年数に応じて、解約控除対象額※の7% ~2%の割合で解約日の資産残高または一部解約請求額から控除されます。
- ※解約控除対象額は、全部解約の場合は一時払保険料相当額、一部解約の場合は一部解約請求額と一時払保険料相当 額のうちいずれか小さい方の金額となります。なお、過去に一部解約があった場合はその際の解約控除対象額が一時払保 険料相当額から差し引かれます。
- *この商品にかかる費用の合計額は、「運用期間中の費用(「保険関係費用」「運用関係費用」)」と「年金受取期間中の費用 (「年金管理費」)」の合計額となります。また、特定のお客さまには「契約管理手数料」や「解約控除」がかかります。
- ・当資料は、オリックス生命の、変額個人年金保険の特別勘定(ファンド)グループの過去の運用状況等を開示するもので、将来の運用成果を 示唆あるいは保証するものではありません。また、特別勘定が投資する投資信託のレポートは、投資信託の運用等に関る会社からの運用報告を、 オリックス生命より提供するものであり、オリックス生命はその正確性、完全性等を一切保証しません。
- ・特別勘定での運用期間中は、保険関係費用、運用関係費用等の諸費用がかかります。また、解約時には解約控除が適用されることがあります。
- ・各特別勘定は投資信託を主な投資対象とするため、価格変動リスク、金利変動リスク、為替リスク、信用リスク等の投資リスクがあります。 したがって、金利、通貨の価格、金融商品市場における相場その他の指標にかかる変動により損失が生じるおそれがあります。

[引受保険会社] オリックス生命保険株式会社

本商品につきましては、新規のご契約のお取り扱いを行っておりません。

ただし、既に本商品をご契約されているお客様につきましては、ご契約後の各種手続のお取り扱いを行っております。

	代表的な指標の騰落率	1ヵ月	3ヵ月	6ヵ月	1年	3年
日本株式	日経平均株価	5.33%	2.18%	▲ 0.64%	▲ 1.36%	39.17%
口个休式	TOPIX(東証株価指数)	5.03%	4.45%	4.51%	1.05%	46.47%
日本債券	NOMURA-BPI総合	▲ 1.29%	▲ 1.68%	▲ 3.16%	▲ 2.76%	▲ 8.66%
外国株式	MSCIコクサイ指数(除く日本、円換算ベース)	6.92%	▲ 1.65%	▲ 3.11%	3.77%	54.61%
外国債券	FTSE世界国債インデックス(除く日本、円ベース)	0.99%	▲ 0.12%	▲ 1.27%	▲ 1.39%	15.86%
外国為替	米ドル対円為替レート(仲値)	0.91%	▲ 3.88%	4 .56%	▲ 8.21%	12.21%





*上記グラフは、2002年9月末を100として指数化しています。







*上記グラフは、2002年9月末を100として指数化しています。



全てのデータの出所はBloomberg、野村総合研究所です。NOMURA-BPIとは、日本国内債券市場で発行されている代表的な公社債の流通動向を的確に表す投資収益指数です。当指数は、野村フィデューシャリー・リサーチ&コンサルティング株式会社によって計算、公表されている、野村フィデューシャリー・リサーチ&コンサルティング株式会社の知的財産です。なお、同社は、当指数を用いて運用されるファンドの運用成果等に関して一切責任を負いません。MSCIコクサイ指数とは、MSCI Inc.が所有する株価指数で、世界の主要先進国の株式市場の動きを捉える基準として、広く認知されているものです。FTSE世界国債インデックスは、FTSE Fixed Income LLCにより運営されている債券インデックスです。同指数はFTSE Fixed Income LLCの知的財産であり、指数に

関するすべての権利はFTSE Fixed Income LLCが有しています。

※運用状況については、組入投資信託の運用レポートをご覧ください。

- ・当資料は、オリックス生命の、変額個人年金保険の特別勘定(ファンド)グループの過去の運用状況等を開示するもので、将来の運用成果を 示唆あるいは保証するものではありません。また、特別勘定が投資する投資信託のレポートは、投資信託の運用等に関る会社からの運用報告を、 オリックス生命より提供するものであり、オリックス生命はその正確性、完全性等を一切保証しません。
- ・特別勘定での運用期間中は、保険関係費用、運用関係費用等の諸費用がかかります。また、解約時には解約控除が適用されることがあります。
- ・各特別勘定は投資信託を主な投資対象とするため、価格変動リスク、金利変動リスク、為替リスク、信用リスク等の投資リスクがあります。したがって、金利、通貨の価格、金融商品市場における相場その他の指標にかかる変動により損失が生じるおそれがあります。

特別勘定(ファンド)グループ

特別勘定と投資対象の投資信託

	運用資産					資産配分(%)		資産	
特別勘定	株	式	債	券	投資対象の投資信託	運用会社	投資	現預金	合計
	日本	外国	日本	外国			信託	その他	(百万円)
日本株式グロース ファンド FIE	•				フィデリティ・日本成長株・ ファンドVA5 *	フィデリティ投信株式会社	97.0%	3.0%	1,975
日本株式インデックス ファンド225 NKA	•				インデックスファンド225 VA*	日興アセットマネジメント 株式会社	95.8%	4.2%	1,234
世界バランスファンド GSB	•	•	•	•	ダ・ヴィンチ VA2	ゴールドマン・サックス・アセット・ マネジメント株式会社	97.1%	2.9%	261
マネーファンド MB			•		三菱UFJ MRF (マネー・リザーブ・ファンド)	三菱UFJアセットマネジメント 株式会社	97.0%	3.0%	210

^{*} 適格機関投資家専用に設定される投資信託です。

投資信託の運用方針

投資対象の投資信託	運用方針
フィデリティ・日本成長株・ ファンドVA5 *	成長企業の株式に投資することにより、TOPIX(東証株価指数、配当金込み)を上回る投資成果を目指します。市場平均等に比較し成長力があり、その持続が長期的に可能と判断される成長企業を独自の個別企業分析により選定し投資を行い、信託財産の成長を目指します。
インデックスファンド225 VA*	主に日本株式に投資することによって、日経平均トータルリターン・インデックスに連動する投資成果の獲得を目指します。
ダ・ヴィンチ VA2	日本を含む世界各国の株式、債券、円短期金融商品に分散投資することにより、信託財産の長期的な成長を目指します。為替は100%円ヘッジを基本とすることで、円高・円安による為替変動の影響を低減します。
三菱UFJ MRF (マネー・リザーブ・ファンド)	高格付の国内外の短期公社債やCPに投資し、元本の安全性を重視しつつ安定した収益の確保を目指します。

^{*} 適格機関投資家専用に設定される投資信託です。

[・]当資料は、オリックス生命の、変額個人年金保険の特別勘定(ファンド)グループの過去の運用状況等を開示するもので、将来の運用成果を 示唆あるいは保証するものではありません。また、特別勘定が投資する投資信託のレポートは、投資信託の運用等に関る会社からの運用報告を、 オリックス生命より提供するものであり、オリックス生命はその正確性、完全性等を一切保証しません。

[・]特別勘定での運用期間中は、保険関係費用、運用関係費用等の諸費用がかかります。また、解約時には解約控除が適用されることがあります。

[・]各特別勘定は投資信託を主な投資対象とするため、価格変動リスク、金利変動リスク、為替リスク、信用リスク等の投資リスクがあります。 したがって、金利、通貨の価格、金融商品市場における相場その他の指標にかかる変動により損失が生じるおそれがあります。

特別勘定 ユニットプライスと収益率の推移

《90歳開始年金原資保証特約付》



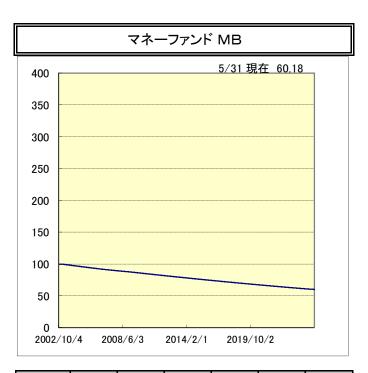
期間収益率	1カ月	3カ月	6カ月	1年	3年	設定来
初间权重牛	5 17%	6.19%	3 85%	-1 63%	28 32%	174 56%

日本株式インデックスファンド225 NKA 5/31 現在 319.55 350 300 250 150 100 50 2002/10/2 2008/6/2 2014/2/1 2019/10/3

期 則加	1カ月	3カ月	6カ月	1年	3年	設定来
期間収益率	4.88%	2.15%	-1.13%	-2.40%	34.44%	219.55%



期間収益率	1カ月	3カ月	6カ月	1年	3年	設定来
	2.58%	-0.27%	-1.73%	0.38%	-2.35%	1.43%



期間収益率	1カ月	3カ月	6カ月	1年	3年	設定来
州间权無牛	-0.16%	-0.48%	-1.00%	-2.08%	-6.57%	-39.82%

- ※特別勘定のユニットプライスは当初100で設定されております。
- ・当資料は、オリックス生命の、変額個人年金保険の特別勘定(ファンド)グループの過去の運用状況等を開示するもので、将来の運用成果を 示唆あるいは保証するものではありません。また、特別勘定が投資する投資信託のレポートは、投資信託の運用等に関る会社からの運用報告を、 オリックス生命より提供するものであり、オリックス生命はその正確性、完全性等を一切保証しません。
- ・特別勘定での運用期間中は、保険関係費用、運用関係費用等の諸費用がかかります。また、解約時には解約控除が適用されることがあります。
- ・各特別勘定は投資信託を主な投資対象とするため、価格変動リスク、金利変動リスク、為替リスク、信用リスク等の投資リスクがあります。 したがって、金利、通貨の価格、金融商品市場における相場その他の指標にかかる変動により損失が生じるおそれがあります。

特別勘定 ユニットプライスと収益率の推移

《特約無し》



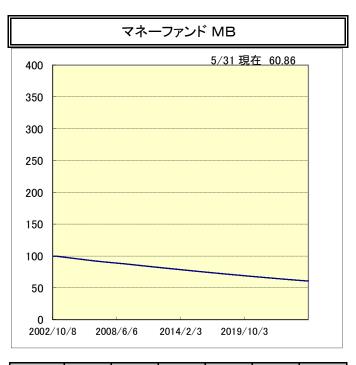
期 則 lp	1カ月	3カ月	6カ月	1年	3年	設定来
期間収益率	5.18%	6.20%	3.87%	-1.58%	28.51%	190.03%

日本株式インデックスファンド225 NKA 5/31 現在 323.21 350 250 200 150 100 50 2002/10/3 2008/6/3 2014/2/2 2019/10/4

期間収益率	1カ月	3カ月	6カ月	1年	3年	設定来
期间収益率	4 88%	2.16%	-1.10%	-2.35%	34.64%	223.21%



期間収益率	1カ月	3カ月	6カ月	1年	3年	設定来
	2.59%	-0.26%	-1.70%	0.43%	-2.21%	3.41%



期間収益率	1カ月	3カ月	6カ月	1年	3年	設定来
州间权無平	-0.16%	-0.47%	-0.97%	-2.03%	-6.44%	-39.14%

- ※特別勘定のユニットプライスは当初100で設定されております。
- ・当資料は、オリックス生命の、変額個人年金保険の特別勘定(ファンド)グループの過去の運用状況等を開示するもので、将来の運用成果を 示唆あるいは保証するものではありません。また、特別勘定が投資する投資信託のレポートは、投資信託の運用等に関る会社からの運用報告を、 オリックス生命より提供するものであり、オリックス生命はその正確性、完全性等を一切保証しません。
- ・特別勘定での運用期間中は、保険関係費用、運用関係費用等の諸費用がかかります。また、解約時には解約控除が適用されることがあります。
- ・各特別勘定は投資信託を主な投資対象とするため、価格変動リスク、金利変動リスク、為替リスク、信用リスク等の投資リスクがあります。 したがって、金利、通貨の価格、金融商品市場における相場その他の指標にかかる変動により損失が生じるおそれがあります。

【特別勘定名】

日本株式グロースファンド FIE

【特別勘定が投資する投資信託】 フィデリティ・日本成長株・ファンドVA5(適格機関投資家専用)

フィデリティ投信株式会社

主要投資対象

日本の上場株式。主にフィデリティ・日本成長株・マザーファンド受益証券を通じて投資が行われます。

運用方針

成長企業の株式に投資することにより、TOPIX(東証株価指数)を上回る投資成果を目指します。市場平均等に比較し成長力があり、その持続が長期的に可能と 判断される成長企業を独自の個別企業分析により選定し投資を行い、信託財産の成長を目指します。

設定来の運用実績 (2025年5月30日現在) 累積投資額(基準価額) 基準価額 45.320円 60,000 ■ • ベンチマーク 50.000 40,000 Washington Challed Sand Contract 30,000 20.000 10.000 0 13/12 02/9 08/4 19/8 25/4 (設定時)

※累積投資額は、ファンド設定時に10,000円でスタートしてからの収益分配金を再投 資した実績評価額です。ただし、購入時手数料および収益分配金にかかる税金は 考慮していません。ベンチマークはファンド設定日前日を10,000円として計算してい ます。※基準価額は運用管理費用控除後のものです。※当該実績は過去のもので あり、将来の運用成果等を保証するものではありません。

コメント (2025年5月30日現在)

当月の東京株式市場は、トランプ政権の関税政策に対する警戒感が和らい

ヨ月の東京林氏川場は、アノンス様の肉花成本になっていまからいたことを背景に、前月に続き上昇しました。 米国が英国と貿易協定を締結し、中国とは相互追加関税の引き下げに合意するなど、米関税政策が緩和方向に進展するとの期待が高まったことに加え、 日米の金融政策が現状維持となったことや、主要企業の2024年度決算発表で自社株買いの設定が相次いだことも押し上げ要因となり、日本株は月半ば で自社株員いの設定が相次いたことも押し上り委囚となり、日本株は月十年まで堅調に推移しました。その後は、米国債の格下げによる財政悪化懸念から米長期金利が上昇し、円高・ドル安が進行したことや、利益確定売りが重なり上値を抑えられる展開となりました。しかし為替が円安に転じたことや、米国が欧州連合(EU)に対する追加関税の発動を延期したことを受けて株価は再 び上昇すると、米国際貿易裁判所がトランプ関税の大部分を違法と判断したことや、米半導体大手の好決算なども支援材料となって上値を広げました。た 一時的に 米連邦巡回区控訴裁判所が米国際貿易裁判所の判決執行を 停止する判断を下したことから、最終日は反落し、月の上昇幅をやや縮めて 月を終えました

月間の騰落率は、TOPIX(配当込)が+5.10%、日経平均株価は+5.33%でし

※上記コメントは、資料作成時点におけるもので将来の市場環境等の変動等 を保証するものではありません。

累積リターン	,			(202	25年5月30	0日現在)
	直近1ヶ月	3ヶ月	6ヶ月	1年	3年	設定来
ファンド	5.56%	7.02%	5.25%	0.74%	38.70%	353.20%
ベンチマーク	5.10%	5.69%	5.92%	3.58%	57.85%	364.73%

- ※ 累積リターンは、収益分配金を再投資することにより算出された収益率です。
- ※ ベンチマーク: TOPIX(配当込)

ルキ・ケロ・ナー ハル・カエ

- *TOPIX(配当込)は、日本の株式市場を広範に網羅するとともに投資対象としての機能性 を有するマーケット・ベンチマークで、浮動株ベースの時価総額加重方式により算出されて おり、配当を考慮したものです。
- *東証株価指数(TOPIX)(以下「TOPIX」という。)の指数値及びTOPIXに係る標章又は商標 は、株式会社JPX総研又は株式会社JPX総研の関連会社(以下「JPX」という。)の知的財 産であり、指数の算出、指数値の公表、利用などTOPIXに関するすべての権利・ノウハウ及 びTOPIXに係る標章又は商標に関するすべての権利はJPXが有します。JPXは、TOPIXの 指数値の算出又は公表の誤謬、遅延又は中断に対し、責任を負いません。

過去5期分の収益分配金(1万口当たり/税込)		
第 19期(2020.11.30)	0円	
第 20期(2021.11.30)	0円	
第 21期(2022.11.30)	0円	
第 22期(2023.11.30)	0円	
第 23期(2024.12.02)	0円	

	19.2 億円	(2025年5月30日現在)
組入上位10銘柄 マッサ	·一ファンド・ベース)	(2025年4月30日現在)

祖八二四(四州(マザーファンド・ベース)		(2025年4月3	U口现任)
	銘 柄	業 種	比率
1	ソニーク゛ルーフ゜	電気機器	5.0%
2	三菱UFJフィナンシャル・グループ	銀行業	4.4%
3	日立製作所	電気機器	4.2%
4	豊田自動織機	輸送用機器	3.5%
5	三井住友フィナンシャルク゛ルーフ゜	銀行業	3.3%
6	東京海上ホールディングス	保険業	3.0%
7	キーエンス	電気機器	2.7%
8	トヨタ自動車	輸送用機器	2.7%
9	伊藤忠商事	卸売業	2.7%
10	リクルートホールテ゛ィンク゛ス	サービス業	2.4%

(組入銘柄数: 167) 上位10銘柄合計 34.1% (対純資産総額比率)

ポートフォリオの状況(マザーファンド・ベース)

資産別組入状況	
株式	97.9%
新株予約権証券(ワラント)	_
投資信託·投資証券	_
現金・母の他	2.1%

市場別組入状況		
東証プライム	96.1%	
東証スタンダード	1.4%	
東証グロース	0.4%	
その他市場	_	

組入上位5業種	
電気機器	20.0%
銀行業	9.6%
輸送用機器	8.7%
小売業	6.9%
卸売業	5.4%

(対純資産総額比率)

(2025年4月30日現在)

- * 各々のグラフ、表にある比率は、それぞれの項目を四捨五入して表示しています。
- *業種は東証33業種に準じて表示しています。
- * 未払金等の発生により「現金・その他」の数値がマイナスになることがあります。
- ・当資料は、オリックス生命の、変額個人年金保険の特別勘定(ファンド)グループの過去の運用状況等を開示するもので、将来の運用成果を示唆あるいは保証するものではありません。また、特別勘定が投資する投資信託のレポートは、投資信託の運用等に関る会社からの運用報告を、オリックス生命より提供するものであり、オリックス生命はその正確性、完全性等を一切保証しません。・特別勘定での運用期間中は、保険関係費用、運用関係費用等の諸費用がかかります。また、解約時には解約控除が適用されることがあります。・各特別勘定では投資信託を主な投資場合とするため、価格の無数となっため、個人の表別では、大きなの無数、金融会とませないなど、根拠をの無数、金融会とませないなど、根拠を必要しませない。
- したがって、金利、通貨の価格、金融商品市場における相場その他の指標にかかる変動により損失が生じるおそれがあります。

【特別勘定名】

日本株式インデックスファンド225 NKA

【特別勘定が投資する投資信託】 インデックスファンド225 VA(適格機関投資家向け)

【運用会社】 日興アセットマネジメント株式会社

主要投資対象

日本の上場株式。主にインデックスマザーファンド225受益証券を通じて投資が行われます。

運用方針

「インデックスマザーファンド225」受益証券を主要投資対象とします。同マザーファンドにて主に日本の上場株式に投資して「日興バーラ 日本株式モデル」を活用してポートフォリオを構築することにより、日経平均トータルリターン・インデックスに連動する投資成果の獲得を目指します。

◆基準価額と純資産総額

基準価額	53, 600円
純資産総額	43.22億円

◆資産構成

▼只压肝冰			
株式		99. 11	%
	プライム	99. 11	%
	スタンダード	0.00	%
	グロース	0.00	%
	その他	0.00	%
株式	先物	0.85	%
株式	実質	99. 96	%
現金その他		0.89	%

※当ファンドの実質の組入比率です。

◆基準価額の推移グラフ

基準日 2025年5月30日



- ※基準価額、ベンチマークは、設定日の前営業日を10,000として指数化しています。
- ※ベンチマークは日経平均トータルリターン・インデックスです。
- ※2023年9月16日に、当ファンドのベンチマークを「日経平均株価(225種・東証)」 から「日経平均トータルリターン・インデックス」に変更しました。

◆ファンド(分配金再投資)とベンチマークの収益率とリスク(標準偏差)

	3ヵ月間	6ヵ月間	1年間	3年間	5年間	10年間	設定来
ファンド収益率(分配金再投資)	2. 96 %	0. 21 %	0.11 %	13.41 %	13.32 %	7.94 %	7. 73 %
ベンチマーク収益率	3. 04 %	0.39 %	0.55 %	13.93 %	13.81 %	8.42 %	8. 19 %
差異	-0.07 %	-0.18 %	-0.44 %	-0.51 %	-0.49 %	-0.49 %	-0.46 %
ファンドリスク(分配金再投資)			11. 73 %	15.01 %	15. 20 %	16.40 %	18.05 %
ベンチマークリスク			11. 73 %	15.01 %	15. 20 %	16.41 %	18.05 %

- ※収益率は、1年以上の場合、年率ベースで、1年未満(3ヵ月間、6ヵ月間)は、年率換算していません。
- ※ファンド(分配金再投資)の収益率は、当ファンド決算時に分配金があった場合の分配金を再購入(再投資)し、算出しています。
- ※収益率・リスクともに月次の収益率より算出しています。設定日が月中の場合、設定日が属する月は含んでいません。

◆株式組入上位10業種

	▼休式組入工位10未性				
	業種名	ファンドの ウェイト	ベンチマークの ウェイト		
1	電気機器	24. 33 %	24. 55 %		
2	小売業	13. 18 %	13. 29 %		
3	情報・通信業	12. 51 %	12.62 %		
4	医薬品	5. 87 %	5.92 %		
5	化学	5. 77 %	5.82 %		
6	サービス業	4. 85 %	4. 90 %		
7	機械	4. 62 %	4.67 %		
8	輸送用機器	4. 08 %	4. 12 %		
9	精密機器	3. 44 %	3.47 %		
0	卸売業	3. 37 %	3.40 %		

※ファンドのウェイトはマザーファンドの対純資産総額比です。

◆株式組入上位10銘柄(組入銘柄数 225銘柄)

	銘柄名	ファンドの ウェイト	ベンチマークの ウェイト
1	ファーストリテイリング	10.08 %	10. 17 %
2	東京エレクトロン	5.99 %	6. 05 %
3	アドバンテスト	5. 12 %	5. 16 %
4	ソフトバンクグループ	3.97 %	4. 00 %
5	KDDI	2. 60 %	2. 63 %
6	リクルートホールディングス	2. 26 %	2. 28 %
7	TDK	2. 08 %	2. 10 %
8	信越化学工業	2. 01 %	2. 03 %
9	中外製薬	1.98 %	1.99 %
10	テルモ	1.85 %	1. 87 %

※ファンドのウェイトはマザーファンドの対純資産総額比です。

- ・当資料は、オリックス生命の、変額個人年金保険の特別勘定(ファンド)グループの過去の運用状況等を開示するもので、将来の運用成果を 示唆あるいは保証するものではありません。また、特別勘定が投資する投資信託のレポートは、投資信託の運用等に関る会社からの運用報告を、 オリックス生命より提供するものであり、オリックス生命はその正確性、完全性等を一切保証しません。
- ・特別勘定での運用期間中は、保険関係費用、運用関係費用等の諸費用がかかります。また、解約時には解約控除が適用されることがあります。
- ・各特別勘定は投資信託を主な投資対象とするため、価格変動リスク、金利変動リスク、為替リスク、信用リスク等の投資リスクがあります。したがって、金利、通貨の価格、金融商品市場における相場その他の指標にかかる変動により損失が生じるおそれがあります。

【特別勘定名】

【特別勘定が投資する投資信託】

ダ・ヴィンチ VA2

【運用会社】

ゴールドマン・サックス・アセット・マネジメント株式会社

世界バランスファンド GSB

主要投資対象

日本を含む世界各国の株式・債券および円短期金融商品。主にダ・ヴィンチマザーファンド受益証券を通じて投資が行われます。

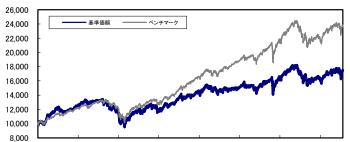
日本を含む世界各国の株式、債券、円短期金融商品に分散投資することにより、信託財産の長期的な成長を目指します。為替は100%円ヘッジを基本とすることで、円高・円安 による為替変動の影響を低減します。

> 基準日: 2025年5月30日

運用の特徴

- 1. 主としてマザーファンドへの投資を通じて、日本を含む先進国を中心とした世界の株式、債券と円短期金融商品に分散投資することにより、信託財産 の長期的な成長を目指します。
- ン はずけったとと ロ 目しらす。 2. 本ファンドのペンチマークは、MSCIワールド・インデックス40% + JPモルガン・ガバメント・ボンド・インデックス(グローバル)40%(ともに為替円ヘッジ、 円ベース) + 日本円1か月TIBOR 20%を使用しております。
- 3. 為替は100%円ヘッジを基本としています。
- 4. 資産配分比率、株式・債券・通貨の国別配分比率の変更を行い、収益の向上を目指します。 5. コンピューター・モデルを用いた計量運用を行います。
- 6. 本ファンドはファミリーファンド方式で運用を行います。

設定来の実績 (2002年9月25日)



02/9/25 05/9/25 08/9/25 11/9/25 14/9/25 17/9/25 20/9/25 23/9/25

(注)上記のグラフは基準価額(信託報酬控除後、課税前分配金再投資)およびベンチマークを、設定日を 10000として指数化した実績です。

基準価額および純資産総額

基準価額	17,518円
設定来分配金	0円
純資産総額	2.5億円

(注)基準価額は分配落ち後のものです。

黱落率

	実績	ベンチマーク
過去1ヶ月	2.87%	1.91%
過去2ヶ月	2.50%	1.93%
過去3ヶ月	0.18%	-0.52%
過去6ヶ月	-0.78%	-0.99%
過去1年	2.68%	3.00%
過去2年	7.62%	8.62%
過去3年	4.64%	5.88%
設定来	75.18%	138.45%

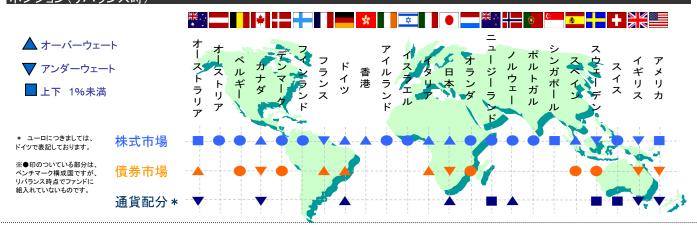
(注)分配金再投資の基準価額の騰落率です。 下記※もご覧ください。

資産構成

	基本アセットミックス	ファンド
世界株式	40.0%	44.1%
世界債券	40.0%	36.8%
円短期金融商品	20.0%	19.2%
合計	100.0%	100.0%

※上記の基準価額、分配金再投資基準価額およびファンドの期間別騰落率は信託報酬控除後のものです。分配金再投資基準価額およびファンド(分配金再投資)の騰落率は、収益分配金(税引前)を分配時に再投資したものとみなして計算したものです。 本ファンドの騰落率をベンチマークと比較して評価することは、特に1年未満程度の短期間については資産の評価時点や評価為替レート等の差異の影響が相対的に大きく、必ずしも適切でない場合がありますのでご留意ください。また、ベンチマークには直接投資することはできず、費用や流動性等の市場要因なども考慮されておりません。

ポジション(リバランス時)



- ・当資料は、オリックス生命の、変額個人年金保険の特別勘定(ファンド)グループの過去の運用状況等を開示するもので、将来の運用成果を 示唆あるいは保証するものではありません。また、特別勘定が投資する投資信託のレポートは、投資信託の運用等に関る会社からの運用報告を、 オリックス生命より提供するものであり、オリックス生命はその正確性、完全性等を一切保証しません。
- ・特別勘定での運用期間中は、保険関係費用、運用関係費用等の諸費用がかかります。また、解約時には解約控除が適用されることがあります。
- ・各特別勘定は投資信託を主な投資対象とするため、価格変動リスク、金利変動リスク、為替リスク、信用リスク等の投資リスクがあります。 したがって、金利、通貨の価格、金融商品市場における相場その他の指標にかかる変動により損失が生じるおそれがあります。

【特別勘定名】

【特別勘定が投資する投資信託】

ダ・ヴィンチ VA2

【運用会社】

ゴールドマン・サックス・アセット・マネジメント株式会社

世界バランスファンド GSB

主要投資対象

日本を含む世界各国の株式・債券および円短期金融商品。主にダ・ヴィンチマザーファンド受益証券を通じて投資が行われます。

運 用 方 針

日本を含む世界各国の株式、債券、円短期金融商品に分散投資することにより、信託財産の長期的な成長を目指します。為替は100%円へッジを基本とすることで、円高・円安による為替変動の影響を低減します。

基準日: 2025年5月30日

2025年5月の市場動向

◎5月の世界株式は6.0%程度の上昇(MSCI世界株式指数;配当込;現地通貨ベース)となりました。5月の世界株式市場は上 昇傾向となりました。国別に見ると、アメリカでは約6.5%の上昇、ドイツでは約6.3%の上昇、フランスでは約3.7%の上昇、イ ギリスでは約3.4%の上昇となりました。日本国内の株式は約5.3%の上昇となりました。

◎5月の世界債券は0.8%程度の下落(JPモルガン世界国債指数;現地通貨ベース)となりました。5月の世界債券市場は下落傾向となりました。国別に見ると、アメリカでは約1.0%の下落、ドイツでは約0.4%の下落、イギリスでは約1.3%の下落となりました。日本国内の債券は約1.3%の下落となりました。

投資対象の評価(リバランス時)

〈資産クラス間配分〉*

資産クラス間配分では、世界株式はモメンタムの観点で評価が高いことから、円短期金融商品に対して強気の見通しとしている。世界債券はモメンタムの観点で評価が低いことから、円短期金融商品に対して弱気の見通しとしている。大型株/小型株の配分に関しては、モメンタムの観点からやや弱気の見通しとしている。一般優良株/テクノロジー株間の配分に関しては、モメンタムの観点から中立の見通しとしている。

〈株式国別配分〉

株式国別配分においては、カナダやスペインに対して強気の見通しとする一方で、スウェーデンやフランスに対して弱気の見通しとしている。カナダに対しては、リスクプレミアムおよびマクロの観点で評価が高いことから強気の見通しとしている。スペインに対しては、バリューおよびモメンタムの観点で評価が高いことから強気の見通しとしている。一方、スウェーデンに対しては、モメンタムおよびマクロの観点で評価が低いことから弱気の見通しとしている。フランスに対しては、リスクプレミアムおよびモメンタムの観点で評価が低いことから弱気の見通しとしている。

〈債券国別配分〉

債券国別配分においては、イタリアやオーストラリアに対して強気の見通しとする一方で、イギリスやカナダに対して弱気の見通しとしている。イタリアに対しては、モメンタムおよびマクロの観点で評価が高いことから強気の見通しとしている。オーストラリアに対しては、モメンタムおよびバリューの観点で評価が高いことから強気の見通しとしている。一方、イギリスに対しては、モメンタムおよびマクロの観点で評価が低いことから弱気の見通しとしている。カナダに対しては、モメンタムおよびバリューの観点で評価が低いことから弱気の見通しとしている。

〈通貨配分〉

通貨配分においては、ノルウェーやユーロ圏に対して強気の見通しとする一方で、カナダやオーストラリアに対して弱気の見通しとしている。ノルウェーに対しては、マクロの観点で評価が高いことから強気の見通しとしている。ユーロ圏に対しては、マクロの観点で評価が高いことから強気の見通しとしている。一方、カナダに対しては、ファンドフローの観点で評価が低いことから弱気の見通しとしている。オーストラリアに対しては、モメンタムの観点で評価が低いことから弱気の見通しとしている。

※ 円短期金融商品・・・一般的に割引国債、コールローン等を指します。また、非円建ての短期金融商品に投資しこれを円へッジする場合もあります。 本資料中の資産構成、投資対象の評価等は、過去の一時点におけるものであり、以後変更される場合があります。

* 株式/債券/円短期金融商品間の資産配分、大型株/小型株間の配分および一般優良株/テクノロジー株間の配分を含みます。

MSCIおよびMSCIの情報の編集、計算、および作成に関与するその他すべての者(以下総称して「MSCI当事者」といいます)は、MSCIの情報について一切の保証(独創性、正確性、完全性、商品性および特定目的への適合性を含みますが、これらに限定されません)を明示的に排除します。MSCI、その関連会社およびMSCI当事者は、いかなる場合においても、直接損害、間接損害、特別損害、付随的損害、懲罰損害、派生的損害(逸失利益を含みます)およびその他一切の損害についても責任を負いません。MSCIの書面による明示的な同意がない限り、MSCIの情報を配布または流布してはならないものとします。

- ・当資料は、オリックス生命の、変額個人年金保険の特別勘定(ファンド)グループの過去の運用状況等を開示するもので、将来の運用成果を 示唆あるいは保証するものではありません。また、特別勘定が投資する投資信託のレポートは、投資信託の運用等に関る会社からの運用報告を、 オリックス生命より提供するものであり、オリックス生命はその正確性、完全性等を一切保証しません。
- ・特別勘定での運用期間中は、保険関係費用、運用関係費用等の諸費用がかかります。また、解約時には解約控除が適用されることがあります。
- ・各特別勘定は投資信託を主な投資対象とするため、価格変動リスク、金利変動リスク、為替リスク、信用リスク等の投資リスクがあります。 したがって、金利、通貨の価格、金融商品市場における相場その他の指標にかかる変動により損失が生じるおそれがあります。

【特別勘定名】 マネーファンド MB 【特別勘定が投資する投資信託】

【運用会社】

三菱UFJアセットマネジメント株式会社

主要投資対象

国内外の公社債、CP等の短期金融商品。

運用方針

内外の公社債およびコマーシャル・ペーパーを中心に投資し、安定した収益の確保を目指します。投資対象とする有価証券は信用度が高く、残存期間が短いものとします。 外貨建資産への投資については、円貨で約定・決済するもの(為替リスクの生じないもの)に限ります。

2025年5月30日現在

■資産構成

一人庄市沙		
	評価金額(円)	比率
公社債	11,990,469,393	2.0%
(うち固定債)	(11,990,469,393)	2.0%
(うち変動利付債)	(0)	0.0%
短期金融資産	597,842,641,800	98.0%
(うちコールローン)	(281,644,000,000)	46.2%
(うちCD)	(0)	0.0%
(うちCP)	(0)	0.0%
(うち現先・レポ)	(316,198,641,800)	51.9%
(うち割引手形)	(0)	0.0%
その他資産	299,176	0.0%
純資産総額	609,833,410,369	100.0%
・固定債・変動利付債以外の債券		

固定債:変動利付債以外の債券。

■基準価額および純資産総額

基準価額	10,000円
純資産総額	6,098.33億円

■ポートフォリオ特性

平均残存日数	4.5日

■国内(邦貨建)公社債(新株予約権付社債(転換社債)を除く)明細表

	額面金額(円)	評価金額(円)·		残存期間	別比率	
	供出並供(口/	計圖並銀(円)	1年未満	1年以上	2年以上	5年以上
国債	12,000,000,000	11,990,469,393	2.0%	0.0%	0.0%	0.0%
地方債	0	0	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%
特殊債	0	0	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%
金融債	0	0	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%
普通社債	0	0	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%
合計	12,000,000,000	11,990,469,393	2.0%	0.0%	0.0%	0.0%

■債券の格付分布

格付種類	比率
AAA格	0.0%
AA格	0.0%
A格	2.0%
BBB格	0.0%
BB格以下	0.0%
無格付	0.0%

■短期金融商品(CP·CD)の格付分布

格付種類	比率
A-1格	0.0%
A-2格	0.0%
A-3格	0.0%

- 表示桁未満の数値がある場合、四捨五入しています。・原則として、比率は純資産総額に対する割合です。・比率は経過利子等を債券時価に含まず算出しております。・平均残存日数は組入銘柄の純資産総額に対する比率 で加重平均しています。・変動利付債の残存日数は、次回利払日までとして計算しています。・特殊債とは独立行政法人、公庫等の政府関係機関等、いわゆる特殊法人や特殊団体が特別の法律に基づいて発行する債券の 総称です。・格付は、R81、UCR、S&P、Moody・Sのうち急赴低い格件を表示しています。
- ・当資料は、オリックス生命の、変額個人年金保険の特別勘定(ファンド)グループの過去の運用状況等を開示するもので、将来の運用成果を示唆あるいは保証するものではありません。また、特別勘定が投資する投資信託のレポートは、投資信託の運用等に関る会社からの運用報告を、オリックス生命より提供するものであり、オリックス生命はその正確性、完全性等を一切保証しません。
 ・特別勘定での運用期間中は、保険関係費用、運用関係費用等の諸費用がかかります。また、解約時には解約控除が適用されることがあります。
 ・各特別勘定は投資信託を主な投資対象とするため、価格変動リスク、金利変動リスク、為替リスク、信用リスク等の投資リスクがあります。したがって、金利、通貨の価格、金融商品市場における相場その他の指標にかかる変動により損失が生じるおそれがあります。